

「文化財を守り伝える京都府基金」10周年

「文化財を守り伝える京都府基金」は設立から10周年を迎えました。

これまで基金を支えていただいた寄附者の皆様、基金支援のネットワークメンバーの皆様
に改めてお礼申し上げますとともに、この10年を振り返ってみたいと思います。

○平成20年7月 文化財を守り伝える京都府基金条例施行

この年の4月に導入された「ふるさと納税」制度。京都府では、用途を「文化財保護」
に特定した基金を設置し、ふるさと納税の募集を開始しました（全国初の取組）。

○平成21年9月 「京都府の文化財を守り伝えるアピール」採択

基金の取組に御協力いただいている方々や文化財保護に関わっておられる方々に御参
加いただき、基金ネットワーク・文化財保護会議を開催、下記アピールを採択しました。

京都府は日本人のこころの
ふるさとである。
悠久の歴史の中で世界に
誇る文化が花開き、数多く
の文化財が現代まで伝えら
れ、多くの人々を魅了し続
けている。
京都の文化財を彷彿とこ
とは、日本の歴史を追体験
することである。京都の四季
が織りなす美しい景色のな
かで文化財を眺めるとき、
私たちは心の安寧と潤いを
覚え、人とひととの絆の大切
さを教えられる。
世界的に貴重な京都の文
化財を保護し、次世代に良
好な状態で伝えていくこと
は、現代を生きる私たちの
責務であると同時にこの上
ない誇りである。
そのために私たちは、京
都を愛する人々と手を携え
文化財を守り伝えていくこ
とを、ここに決意する。

○平成27年4月 「ふるさとチョイスアワード【東西番付2014】」の西の横綱に

「使い道よかったで賞（ベスト使い道賞）」ということで、寄附金の用途が明示されて
いることと、寄附特典である京都文化体験に参加することで文化財保護の必要性を実感で
き、再度の寄附につながる点が評価されました。

○平成30年2月 基金修理事業現場見学会を初開催

京都文化体験に参加いただいた方へのアンケートで御要望の多かった「実際に寄附で修
理された文化財の見学」。「大河内山荘」で初の見学会を開催しました。

平成24年2月豪雪、平成27年台風15号、平成29年台風18・21号、そして今年の大阪
北部地震・7月豪雨・台風21号。この10年でたびたび大規模災害が文化財を襲っています。
費用の面から、元の状態に復原する「保存修理」ではなく、現代的な工法での建て替えを余
儀なくされる文化財もあります。貴重な文化財を次世代に遺したいという思いは文化財所有
者も同じです。「文化財を守り伝える京都府基金」では、自然災害が発生した場合には追加で
補助事業を募集、補助率を上げるなど柔軟に対応しており、また被害を未然に防ぐための事
業にも補助を行っています。皆様からの御寄附で多くの文化財が守られています。